

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第5号（令和6年5月1日）

玉小の教育 Vol. 1

今年度の玉小の教育について、お知らせします。これは全体像です。



令和6年度 玉野市立玉小学校 教育計画

【ミッション】

「【知】【徳】【体】調和のとれた力の育成」「将来にわたって必要な力の育成」

【学校教育目標】

あふれる笑顔 きらめく瞳

【笑顔】は達成感・充実感・満足感等によって、自然にあふれ出る笑顔【自己肯定感の醸成】
【瞳】は「どうしてだろう。」「どうなっているんだろう。」「よし、やってやるぞ。」といった
好奇心やチャレンジ精神に裏打ちされた瞳の輝き【目標に向かう態度の育成】

【めざす子ども像】

○進んで学ぶ子 ○なかよく助け合う子 ○最後までやりぬく子

めざす学校像

- 児童が主体的に取り組む学校
- 人権が守られ、ともに支え合う学校
- 児童・家庭・地域・教職員が誇りに思う学校

めざす教職員像

- 使命感をもち、愛情豊かな教職員
- 自己研鑽をする教職員
- 同僚性・協働性を大切にする教職員

児童の大人モデル

【学校経営方針】

上記の教育理念や学習指導要領の主旨、学校内外の実態をふまえ、児童の生きる力や将来にわたって必要な力を伸ばすために**キャリア教育を学校経営の基盤に据えて**教育活動を展開するとともに、**社会に開かれた教育課程の実現のために社会との接続を図る。**

- ①児童自ら、目標設定やそのための具体的な行動を考え、実践する等、今と将来をつなぐ取組を行う。
- ②活動前の**目的の理解**と活動後の**振り返り**を重視し、次の活動に繋げるPDCAサイクルをまわす取組を行う。
- ③主体的に学べるように、**学びの接続**（一単位時間、社会・家庭）を図り、指導の工夫・改善に取り組む。
- ④【玉小キャリアパワー】を将来にわたって必要な力と捉え、推進する。
- ⑤生活習慣、学習習慣等、**凡事徹底**の雰囲気をつくるとともに児童一人一人が認め合い、支え合う人間関係づくりができる積極的な生徒指導を推進する。



確かな学力	豊かな心	たくましい心と体
★③授業づくり (岡山型学習指導のスタンダードを基盤として) ・目標・目的の提示と振り返りの確実な実施 ・基礎・基本の定着（朝学習の充実） ・授業と家庭学習のリンク（課題提示と次時の復習） ③授業のユニバーサルデザインや個に応じた指導の充実（特別支援教育の充実） ・ICT機器の活用 ・授業規律・環境の工夫 ③関わり合いの充実 ・考えを広げ・深める【関わり合い】の意図的な場面設定 ③学習指導要領の理解の深化 ・学習評価 ・見方・考え方	★①②④自己教育力の育成 ・めあてと振り返りに対する対話的な関わり ・玉小キャリアパワーと行動との関わり ④⑤規範意識や人権意識の醸成 ・道徳の時間の充実 ・児童主体の取組の充実 ④⑤主体性・責任感の醸成 ・学校行事や委員会活動、体験活動での取組の充実 ・自己や集団の責任を自覚させ、「やりきる、やらせきる」指導の徹底 ・意義の理解、意欲の醸成、自己有用感の獲得 ⑤生命・安全を大切にする指導の充実 ・講師による専門的な見地からの指導の充実	★⑤基本的生活習慣の確立 ・凡事徹底（あいさつ・時間・清掃） ・保護者と連携したメディアコントロールの取組 ⑤教育相談機能の充実 ・教職員の傾聴スキルの向上 ・心理検査の実施と活用 ⑤組織的な生徒指導体制の構築 ・問題行動、いじめの未然防止・早期発見・対応 ・家庭との連携 ・SC（スクールカウンセラー）・SSW（スクールソーシャルワーカー）、関係機関等との連携 ⑤共感や規律の土台となる学級経営の工夫 ・OJTの充実 ・教員のスキルの共有

特別支援教育の知的理解と実践的態度の育成

【信頼される学校づくり】

学校のねらいの共有

◎各連携の充実（信頼される学校づくり）

- ・学校運営協議会でのめざす子ども像や学校経営理念等の共有
- ・学校地域協働本部等での地域人材の活用
- ・保護者との交信（家庭連絡、学校HP、メール配信、各種通信）
- ・園小中連携の推進

【ミッション】

《何のために》

ミッションとは、使命や目的のことであり私はこの2つだと思っています。

【学校教育目標】

《何をするのか》

ミッションを達成するために学校として目指す方向です。

「自分は自分でいいんだ」と思える気持ちや自分が立てた目標をがんばる気持ちを育てたいと考えます。

その具体的な子どもの姿が【めざす子ども像】です。

【学校経営方針】

《どのようにするのか》

【めざす子ども像】

の実現のために、《何を重点に、どのようにするのか》を書いています。

先日、保護者の皆様にはPTA総会で、

「玉小学校ではキャリア教育を基盤とした教育活動を進める」とお話ししました。

そして、そのための具体的な取組を書いています。

具体的取組の①～⑤は学校経営方針の①～⑤にあたる取組です。

今年度、何をする？①

全体像（学校経営計画）を受けて、重点項目の2つについて説明します。

キャリア教育

児童自ら、目標設定やそのための具体的な行動を考え、それを実践する等、今と将来をつなぐ取組を行います。また活動前の目的の理解と活動後の振り返りを重視し、次の活動に繋げるPDCAサイクルをまわす取組を行います。

○目標シート⇄振り返りシート（学期）

学期のはじめに目標シートを書き、終わりに振り返りシートを書きます。（1年生は2学期より）

P【プラン】目標（めあて）・計画を立てる

- ① 1学期のおわりに、「どんな自分になっていたいのか？」【学習】【生活】について考える。
- ② そのためにどうするのか目標（めあて）を考える。
- ③ 目標（めあて）ができるための具体的な行動を考える。

D（ドゥ）

具体的な行動をやるみる。（4月～）

C（チェック）

できたか、できなかったかを振り返り、その理由を考える。

A（アクション）

改善方法を考えて、2学期の目標につなげる。

1学期の振り返りをもとに、2学期の終わりにどんな自分になっていたい？（学習）

目的…自分が目指す姿（何のためにするのか）

目標…目的を達成するための指標（何をやるのか）

測定…達成度合いを測る（どこまでできたか）

手段…目標を達成するための具体的な方法・行動（どのように、どこまでするのか）

4月～ 1学期の目標 振り返り（達成度は？）

2学期の振り返り（達成度は？）

目標シート

なりたいたい自分になるための自分との約束（目標ががんばろうと決めたこと）に対して

〇がんばることができましたか？（あてはまるところに〇をつけましょう）

あまり できなかった できた どちらでもない 少しか できた

〇4月と比べて、どうですか？（目標シートの〈今までは〉と比べて）

【何ができた？】 【なぜできた？】 【何ができなかった？】 【なぜできなかった？】

2学期（9月～12月）に「なりたいたい自分」はどんな自分？そのためにがんばったことは？

振り返りシート

○目標シート⇄振り返りシート（学校行事）

学期ごとの目標⇄振り返りと同じように学校行事でも目標と振り返りを行います。まずは《何のためにするのか》を確認

1～4年生用

玉小キャリアパワー

なかよしパワー

がんばりパワー

チャレンジパワー

やくだてパワー

5・6年生用

玉小キャリアパワー

かかわる力

見つめる力

挑戦する力

つなげる力

キャリアパワーは玉中学校区で統一しています。

した上で目標づくりを行います。

また取組が長期にわたるもの（運動会・学習発表会等）については、取組途中に振り返りを行い、再度、目標づくりをします。これによって子ども達が【さらなる高み】を目指したり、【めあての具体化・焦点化】をしたりすることを期待しています。

そして取組後に、子ども達自身が感じたことを玉小キャリアパワーで整理し、「成長のあと」を実感できるようにしたいと考えます。

取組のねらい

- 「将来の自分は今の自分とつながっている」ので、目的を理解し、「なりたいたい自分（将来像）」を描いて、「そのために頑張る自分（今）」をつくるのが大切だと考えます。そしてPDCAサイクルを何度も回し、具体的に考えることで、やることがはっきりして、できることが増えると考えます。
- 「自分のことを自分で考え、自分で決めて、行動し、責任をもつ」という主体性を身につけてほしいと考えます。現行学習指導要領では、「児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。」と書いてあります。子ども達が主体的になるのは、「自分で選ぶ、自分で決める」「振り返りで自分の今の状況を知り、どのように進めていくのかを考える（学習を調整）」ことだそうです。授業はもちろん、生活でも主体性を向上させる取組は大切だと考えます。